



キク編

病害虫注意報 2022年5月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病・害虫注意！

ハウス内は高湿度状態になりやすく、白さび病が発生しやすくなります。モヤコン使用など、湿度を下げる工夫を行いましょう。ハウスまわりの雑草は病害虫に発生源となります。雑草が大きくなる前に除草剤等を散布しましょう。



症状

多発条件

対策

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）。
- ▶ 梅雨時期と9～10月頃の（15～20℃）冷涼な時期。

- ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています（輪菊栽培）。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
消灯時	アブラムシ類・アザミウマ類 ハダニ類・フタバアブラムシ	トクチオン乳剤	1,000倍	発生初期	5回
消灯時	白さび病	予・治 ラリー乳剤	3,000倍	発病初期	5回
	ハダニ類 アザミウマ類・アブラムシ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
発蕾時	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	ミカンイロアザミウマ ミナミイロアザミウマ ハダニ類 等	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
破蕾時	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	—	1回

海藻サンバ

1,000倍：挿し穂浸漬処理、または葉面散布

- ▶ コリンによる
光合成促進と**発根促進**
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500～1,000倍
葉面散布

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

